

令和3年度 鹿角市立花輪中学校 学校評価書

＜参考表示＞

目標	市の施策の基本方向	評価指標（学校の実践課題）	自己評価 中間	外部評価 中間	自己評価 年度末	外部評価 年度末	市の施策の柱
確かな学力と高い志を育てる教育の充実	基本方向 1 自己実現のために必要な確かな学力の定着を図ります。	①自ら学び続ける力と協働的に考えをみがぐ力を高める授業改善の推進 ②望ましい学習集団の育成による学力の定着	3	3	4	4	①なぜ学ぶのかを明確にした主体的・対話的で深い学びの実現 ②望ましい学習集団の育成による児童生徒の学力向上対策 ③読書活動の推進と読解力の育成 ①社会的・職業的自立を目指すための教育活動の推進 ②ふるさとへの理解を深める体験的な活動の推進 ③鹿角市の未来を支え盛り上げる人材の育成 ①ICTを活用した情報活用能力と情報モラルの育成 ②グローバル化に対応する能力の育成 ③他地域との交流によるコミュニケーション能力と発信力の育成 ①自己有用感と主体性を育む学習集団の育成 ②規範意識や思いやりなどを育成する道徳教育の充実 ③共生社会の形成に向けた人権教育の推進 ①規則正しい生活習慣の確立 ②食育の推進 ③体育授業及び運動部活動の充実と体力の向上 ①特別支援教育の充実 ②就学前相談の充実と小・中学校との密な連携 ③不登校児童生徒の居場所づくりと学校復帰に向けた支援の充実
	基本方向 2 自分の未来を自分で切り開き、ふるさとを支える気概をもった人材を育てます。	①望ましい職業観の育成を目指した職場体験学習やキャリアアップ講座の活発化 ②鹿角を支え、鹿角と関わって生きていく生徒を育む「はなふるタイム」の充実	3	3	3	3	
	基本方向 3 情報活用能力とコミュニケーション能力をもった、自分らしく輝く人材を育てます。	①1人1台の端末を活用した個に応じた学びの充実 ②情報社会において正しく判断・行動できる生徒を育む情報モラル教育の充実	3	3	4	4	
豊かな心と健やかな体を育み、将来の自立を支える教育の充実	基本方向 4 豊かな心を育みます。	①一人一人に居場所がある集団作りの推進 ②自己有感と主体性を高める特別活動の充実 ③特別の教科道徳を「要」とした道徳教育の充実	3	3	3	3	
	基本方向 5 健やかな体を育みます。	①望ましい生活習慣の確立 ②体育授業及び運動部活動の充実による体力の向上	3	3	3	3	
	基本方向 6 子ども一人一人に応じた、きめ細かな教育を推進します。	①共感的理解に基づく生徒支援の推進 ②合理的配慮の視点による特別支援教育の推進 ③関係機関との連携強化	3	3	3	3	
学校教育環境の充実を図り、地域とともに取り組む多様で質の高い教育の充実	基本方向 7 子どもの成長を支える魅力的で安全・安心・良質な学びの場をつくり出します。	①安全確保のための取組の充実 ②校舎内外の潤いある環境整備	4	4	4	4	
	基本方向 8 教職員のモチベーションと資質の向上を図ります。	①教職員の資質向上を目指した校内研修の充実 ②人事評価制度を生かした校内OJTの推進	3	4	4	4	
	基本方向 9 地域とともに特色ある学校づくりの推進に努めます。	①地域人材やボランティア、地域素材の積極的な活用 ②保護者・地域への積極的な情報発信	3	4	4	4	

5	きわめて良好
4	良好
3	おおむね良好
2	やや不十分
1	努力を要する

5	実現状況は極めてよい	達成率90%以上
4	実現状況は良好である	達成率80～90%
3	実現状況はおおむね良好である	達成率60～79%
2	実現状況はやや不十分である	達成率50～59%
1	実現状況は不十分で努力を要する。	達成率49%以下

基本方向1「自己実現のために必要な確かな学力の定着」

児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	4月に「花中の学び方」というテーマで全校集会をし、確認した。実践していこうという意欲もある。	中間	3	中間	3	「花中スタンダード」について一丸となった取組が行われ、望ましい学習集団が育成されている。
年度末	アンケートの結果から今年度の具体的な取り組みが、生徒と共に教師も成長できた1年であったと感じる。	年度末	4	年度末	4	「花中スタンダード」が全ての教科で実践され、生徒の「確かな学力」に結びついていると思われる。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 ・「花中スタンダード」の実施状況を各教科担当に毎月振り返ってもらい、集計した結果、高評価で推移している。意識しながら先生方が取り組んでいることが感じられる。 ・「BrushUpタイム」では、7月の取り組みが低下していた。今後の推移を確認しながら、職員会議等で共通理解をし、望ましい学習集団を形成できるように教師側での取り組みを徹底できるようにしていきたい。					
	【年度末評価】 ・校内授業研究会や鹿角中学校教科授業研究会（公開授業）に向けて、具体的な取り組み内容を各教科担当が意識して取り組んでいた。公開授業では、鹿角の先生方に参観していただき、資料にあるような感想をいただいている。また、保護者や生徒へのアンケート結果から、具体的な取り組み内容一つ一つが結果に結びついていることを感じる。今年度有効であった取り組みを次年度に生かしていきたい。					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
①自ら学び続ける力と協働的に考えをみがく力を高める授業改善の推進 ②望ましい学習集団の育成による学力の定着	・「花中スタンダード」を各教科で共通実践 ・必要感のあるめあて、課題の工夫 ・個の考えを深めるための「Brush Upタイム」の設定 ・振り返りの実施と見取り ・「授業の心構え」の徹底 ・教師による共通実践事項を踏まえた授業づくりの振り返り（毎月）

<資料>		1～3 生徒アンケート	4 学校教育に関するアンケート保護者版
		①当てはまる ②どちらかと言えば当てはまる ③どちらかと言えば当てはまらない ④当てはまらない	
1 授業の目標を意識して取り組んでいる。 （必要感のあるめあて、課題の工夫）		2 学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思う。(BrushUp)	
※肯定的回答95.5%		※肯定的回答90.9%	
3 振り返りをする中で、少しでも自分の変化を実感することができる。(振り返り)		4 学校は、学力向上のためによく取り組んでいると思いますか。 A大変よい B良い Cおおむね良い Dあまり良くない E良くない	
※肯定的回答81.5%		※肯定的回答84.7%	
公開授業（R3.11.17）の授業アンケートより抜粋 ・1年生らしく、元気が良く、学習規律も素晴らしかった。 ・タブレットの使用や授業などのルールやマナーがしかりできていて見習っていききたいと思った。 ・花中の「花中スタンダード」を丁寧に組み込んだ授業でした。それぞれの段階をきちんと見せてくれました。 ・ねらいにせまるための課題の設定や単元構成、話し合わせ方など、とても勉強になりました。 ・授業の最後に、次回の課題を生徒自ら考え、決めていたので、見通しをもって学習していると思いました。 ・日頃の指導の成果が現れた、とても素晴らしい授業であり、生徒でした。			

基本方向2「自分の未来を自分で切り開き、ふるさとを支える気概をもった人材の育成」

児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	将来の夢や目標が明確でない生徒もいる。ふるさとへの愛着心が強いが、関わり方が分からない。	中間	3	中間	3	校外学習や職場体験、「はなふるタイム」等の活動が効果的に行われている。
年度末	起業体験プロジェクトを通して、勤労観の育成や自分から地域に関わろうとする意欲が高まった。	年度末	3	年度末	3	起業体験P J等の地域の教育力を活用した取組により、生徒の意識が高まってきている。

自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 ・校外学習や職場体験を通して、仕事と地域の関わりを調べたり自分がどのようにふるさとに関われるかを考えたりすることができた。 ・「はなふるタイム」の活動を通して、鹿角の魅力を効果的に発信する方法を考えることができた。（起業体験プロジェクト：鹿角を元気にすることを使命とした11の模擬会社での活動）
	【年度末評価】 ・起業体験プロジェクトを通して、地域が抱えている課題に気づき、中学生としてどのように地域に関わっていくか考えを深めることができた。 ・外部に出かけるのに制限がある中でも、生徒に達成感を与えられるような内容、会社の活動を学校全体で考えて行く必要がある。

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
①望ましい職業観の育成を目指した職場体験学習やキャリアアップ講座の活発化 ②鹿角を支え、鹿角と関わって生きていく生徒を育む「はなふるタイム」の充実	・学活での系統的な職業観の育成 ・3年間を見通した、職場訪問や職場体験 ・総合的な学習の時間における地域人材の活用 ・地域の伝統や文化を継承する行事 ・キャリアパスポートの活用

<資料>

保護者アンケート・生徒アンケート（11月）

⑩あなたは、自分の進路や将来の夢を意識した学習や活動を行っていますか。（生徒アンケート）
R2 3.72 → R3 3.73

⑩学校は、生徒の進路や自己実現に向けた活動をよく行っていると思いますか。（保護者アンケート）
R2 3.48 → R3 3.58

キャリアアンケートの結果（生徒質問紙）

⑩働くこと学ぶことの意義や理解・多様性の理解

1年 6月 3.2 → 12月 3.3
 2年 6月 3.2 → 12月 3.1
 3年 6月 3.1 → 12月 3.3

⑪将来設計・選択

1年 6月 2.9 → 12月 3.1
 2年 6月 2.9 → 12月 2.9
 3年 6月 2.9 → 12月 3.1

<起業体験プロジェクト：各会社の活動の様子>



秋田活性化中学生選手権
審査員特別賞：劇団ニタドリ



青少年を育てる市民の集いでの
発表：スーパーミュージック



手作りおもちゃ等を寄贈
：社会福祉会社ひまわり

基本方向3 「情報活用能力とコミュニケーション能力をもった、自分らしく輝く人材の育成」

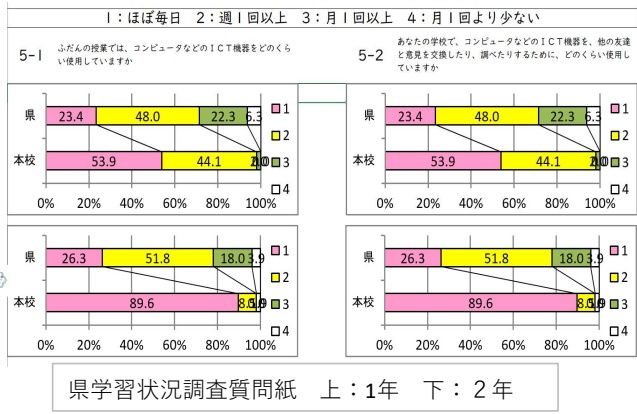
児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	タイピング能力や情報モラルといった情報リテラシーに乏しく、道具としての一人一台端末の活用には課題がある。	中間	3	中間	3	無理のない推進を図るために、先進事例に学ぶ場や先生方同士の情報交換の場が大事だと思う。
年度末	使用を重ねたことで、タイピングやデータの送受信等、使用上の負担は軽減されているように感じる。授業内で複数のアプリを同時に起動しながら操作したり、資料として活用する様子も見られる。	年度末	4	年度末	4	ICTに関する県学習状況調査質問紙の結果も県平均を大幅に上回り、効果的な活用が進められている。
自己評価の概要と学校の改善策		<p>【中間評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科の授業をはじめとし、総合的な学習の時間、学年、全校でのアンケート調査等での活用により、『使ってみる段階』はクリアできている。より効果的な学習への活用を検討中。 使用時間や使用目的等、情報モラルの面で課題が見られるようになってきた。全体での研修や、個別の指導、より有効な活用場面を設定することで対応していきたい。 <p>【年度末評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットの活用に関する職員研修や実践事例の紹介等を通して、学習場面での活用が増加。より効果的に活用するため、各教員が様々な実践を試行し、活用場面の加除修正を行いながら取り組んだ。鹿角市教研では全教科でICTを活用した。 生徒研修等を通して、情報モラルについて再確認しルールの徹底を図った。今後の活用については、校務分掌、生徒会活動等とも連携して、より必要感のある実態に即したものに改善、改変していきたい。 リモート授業の実施により、緊急時での有効性、有用性が示唆されるとともに、周辺設備充実の必要性も感じられた。 				

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
① 1人1台の端末を活用した個に応じた学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の授業内において端末を活用した学び方の充実 情報モラル教室の実施 メディア・生活習慣の指導 (MCD、メディア依存度チェック)
② 情報社会において正しく判断・行動できる生徒を育む情報モラル教育の充実	

<資料>

新アライオン対策 教職員研修

通信による情報共有



鹿角市教研 ICTの活用

休校中の全学級オンライン授業

基本方向4 「豊かな心の育成」

児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	大勢の人の前で発表することが苦手な生徒が多い。	中間	3	中間	3	合唱コンクール、小中連携での合唱訪問で、集団作りの充実ぶりや自己有用感の高まりが感じられた。
年度末	周りの友達と協力して授業中の活動に取り組むことができる生徒が増えてきたが、発表となると特定の生徒に限られている。	年度末	3	年度末	3	諸活動に主体的に取り組む生徒の姿が見られる。自己肯定感の低い生徒に対しての取組もお願いしたい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 ・学年集会では、生徒たちが主体となった取組ができていた。 ・学級力アンケートは定期的の実施し、生徒の目に見えるような形で結果を掲示することができた。限られた授業時数の中で、学級会をどのように開催していくか考えていきたい。					
	【年度末評価】 ・アンケートでは行事や諸活動に対して肯定的な評価が多く、主体的に取り組もうとする生徒が増えてきた。 ・朝活動の時間に、話し合いの時間を設定するなど、生徒が自分たちの課題解決のために進んで意見を発表できる機会を増やしていきたい。					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
①一人一人に居場所がある集団作りの推進	・お互いのよさを認め合える学年集会の運営 ・hyper-Q Uの結果を踏まえた、生徒会活動の取組 ・生徒会活動の自治的運営 ・学級力アンケートの実施と学級会の定期的開催 ・各教室への道徳コーナーの設置 ・道徳の振り返りの共有
②自己有用感と主体性を高める特別活動の充実	
③特別の教科道徳を「要」とした道徳教育の充実	

<資料>

保護者アンケート・生徒アンケート（11月）

⑦あなたは、係活動や学級・学年の活動に積極的に取り組んでいますか。（生徒アンケート）

R2 4.34 → R3 4.36

⑩あなたは、行事や委員会活動に主体的に取り組んでいますか。（生徒アンケート）

R2 4.26 → R3 4.38

⑦学校は、一人一人に居場所のある集団作りを勤めていると思いますか。（保護者アンケート）

R2 3.44 → R3 3.50

⑩学校は、体育祭や花中祭などの行事を効果的に行っていると思いますか。（保護者アンケート）

R2 3.76 → R3 3.83

秋田県学習状況調査（12月 1・2年生）生徒質問紙（12月、3年生）の推移

		R2.07	R2.12	R3.07	R3.12
学校が楽しい	現1年	/		94.0	95.1
	現2年	87.4	87.4	80.8	82.1
	現3年	94.2	93.1	89.4	93.0
自分にはよいところがある	現1年	/		74.0	86.2
	現2年	71.2	73.0	68.8	73.6
	現3年	76.0	74.5	69.2	67.3

基本方向5 「健やかな体の育成」

児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	元気なあいさつはできているが、場に応じたあいさつや行動ができていない生徒も見られる。	中間	3	中間	3	目標を設定しての挨拶や体力向上への意識的な取組は、効果的に作用していると感じられる。
年度末	3年生を中心に元気なあいさつの響く花輪中学校を作り上げることができた。	年度末	3	年度末	3	花中生は気持ちの良い挨拶ができていいる。望ましい生活習慣は家庭と一体となった取組を期待する。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 ・校内に明るく爽やかなあいさつが響いていた。授業や学年部などの関わりのない先生や、来客へのあいさつへも取り組ませたい。全教職員が共通実践して、指導し、特にその場にふさわしい声の大きさを考えさせたい。 ・大きな事故等はなく、安全に登下校できていた。今後も下校指導等を等して呼びかけていきたい。 ・体力の向上については、新体力テストの平均や10点とるための基準を指標にして取り組ませることができた。					
	【年度末評価】 ・1年を通して、3年生を中心に元気なあいさつが響き渡っていた。新年度の向けて1・2年生の自発的なあいさつを更に高めていきたい。 ・大きな事故はなかったが、骨折などのケガが多く見られた。給食指導と共に、体育や部活動での基礎体力トレーニングの他、徒歩での登校も引き続き奨励していきたい。					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
①望ましい生活習慣の確立 ②体育授業及び運動部活動の充実による体力の向上	・心身の健康と望ましい生活習慣の確立 ・「生徒指導共通実践マニュアル」を活用した指導の共通実践 ・爽やかなあいさつの励行（あいさつ指導、あいとく運動） ・交通安全指導（交通安全教室、バス乗車マナー指導） ・気力・体力の向上を目指した体育授業、体育的行事および部活動

<資料>

秋田県学習状況調査（12月 1・2年生）生徒質問紙（12月、3年生）MCD調査の推移

		R2.7	R2.12	R3.7	R3.12
③進んであいさつ	現1年			93	94.1
	現2年	92	99.1	80.7	82.1
	現3年	88.1	97.1	84.6	83.2
④就寝時間23時前	現1年			92	85.8
	現2年	91.1	87.3	86.2	61
	現3年	88.1	97.3	77.7	58.6

※生徒指導部での目標は、③80%以上、④80%以上



薬物乱用防止教室の様子



球技大会（3年生）

基本方向6 「子ども一人一人のニーズに応じた、きめ細かな教育の推進」

児童生徒又は学校の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	各学年に、学校や教室には入れない生徒や特別な支援が必要な生徒が複数いる。	中間	3	中間	3	ニーズに応じた対応するためには、関わる人や頻度など、無理のないしくみを作ることが大切だと考える。
年度末	各学年で、登校できるようななったなど、改善が見られるようになってきている。	年度末	3	年度末	3	支援を要する生徒に対して全職員の共通理解が図られ、関係機関との連携も適切に進められている。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 ・保健室で過ごしている生徒については、学級に入れられない生徒の居場所を確保し、共通理解して各学年部を中心に職員全体で対応していきたい。不登校の生徒については、家庭訪問での安否確認を週1回はしていきたい。日々の様子の記録を活用しながら、一人一人の目標を立ててそれに向かい、振り返るしくみを作っていきたい。 ・特別な支援を必要とする生徒への対応について、共通理解が進めなければいけないケースが多いため、支援の仕方をまとめたマニュアルを基に、共通実践していきたい。					
	【年度末評価】 ・不登校・不登校傾向の生徒に対しては、学級担任を中心に各学年部や生徒支援担当など職員が連携して対応し、登校できるようになるなど改善が見られる生徒が増えている。 ・新学期など、節目となるタイミングをうまく利用して改善していけるように、今後もSC等の関係者も含めた連携を強化していきたい。					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
①共感的理解に基づく生徒支援の推進 ②合理的配慮の視点による特別支援教育の推進 ③関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心を育む人間関係の醸成 ・お互いの良さを認め合うような声かけや場の設定 ・全校生徒と行う教育相談期間の設定 ・生活アンケートの実施による生徒の実態把握 ・ケース会議等による生徒への即時対応と情報の共有 ・インクルーシブ教育の理念による個別の教育的ニーズへの対応 ・SC、こもれび教室、家庭相談員、警察との連携

<資料>

秋田県学習状況調査（12月 1・2年生）生徒質問紙（12月、3年生）の推移

		R2.07	R2.12	R3.07	R3.12
学校が楽しい	現1年			94.0	95.1
	現2年	87.4	87.4	80.8	82.1
	現3年	94.2	93.1	89.4	93.0
自分にはよいところがある	現1年			74.0	86.2
	現2年	71.2	73.0	68.8	73.6
	現3年	76.0	74.5	69.2	67.3

E組の授業の様子

保護者アンケート（11月）

③学校は、いじめや不登校のない学校にするために努力していると思いますか。

R2 3.32 → R3 3.29

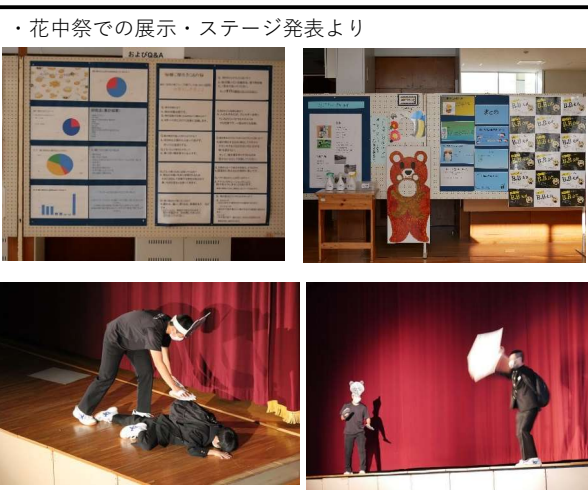
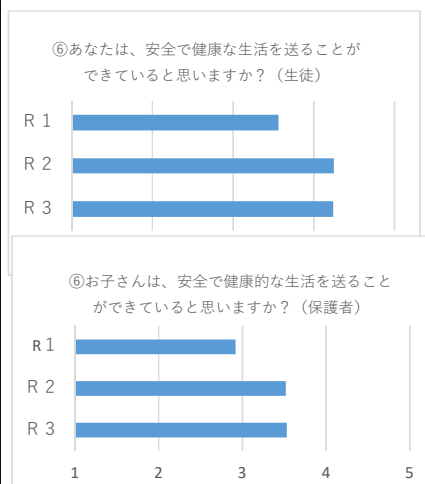


基本方向7「子どもの成長を支える魅力的で安全・安心・良質な学びの場づくり」

児童生徒又は学校の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	指導内容を共通理解し、分掌部、学年部等諸機能を生かした実施計画の立案	中間	4	中間	4	生徒の気付き生かして避難マップ制作している事が良い。積雪期バージョンもあるとさらに安心だと思う。
年度末	野生動物被害はなかった。 「模擬会社」の積極的な活動により、安全意識の向上が見られた。	年度末	4	年度末	4	「身近にある危険」を想定した避難訓練や安全対策が実施されており、安全意識の向上につながっている。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 2度実施した避難訓練では、2度目に予告なしで行うことにより、より生徒の災害への理解と自主的な行動に働きかけることができた。清掃時間中に実施し、生徒の気付きをもとに生徒が「避難マップ」を作成した。野生動物対策では、忌避剤の設置と2度の早朝作業により、寄せ付けない対策と見通しの確保ができた。生徒が立ち上げた「模擬会社」の中でも、忌避剤開発を手がけるなど、意識の向上が見られる。					
	【年度末評価】 クマの忌避剤設置も2年目となり、効果が続く期間が把握でき効果的に設置作業を進めた。冬季休業明けには、通学路の除雪、生徒指導部による通学路点検を行い、危険箇所について対応した。なお降雪時の駐車場利用については安全・安心メールで保護者に注意喚起を行い、初期段階で駐車整理を行うなど事故防止に努めた。「模擬会社」の活動の中に、「危険箇所マップの作成」「クマ遭遇時の講習会」など生徒の自主的な取り組みが見られた。感染症対策にもチームで即時に対応することができた。なお、冬期間・積雪時の避難訓練の実施や生徒の危機意識の向上には、さらなる対応の必要がある。					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
①安全確保のための取組の充実 ②校舎内外の潤いある環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全計画に基づく危機管理の徹底 ・年2回以上の避難訓練の実施と安全対策の見直し ・長期休業、登下校時等の事故防止の徹底 ・野生動物への適切な対策 ・諸会計の適切な執行 ・個人情報の適切な管理 ・校内掲示物の更新と効果的な活用 ・安全点検、校舎・校地の環境整備 ・季節感を取り入れ、生徒の活動が見える校内掲示の工夫

<資料>



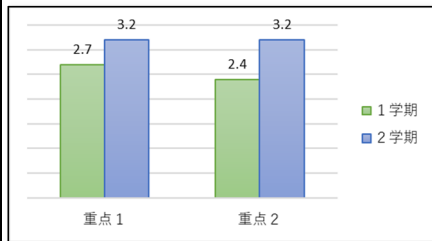
基本方向8 「教職員のモチベーションと資質の向上」

児童生徒又は学校の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	全職員が意欲的に研修に取り組んでいる。	中間	3	中間	4	プランシートやアンケートの活用等が効果的に実施され、生徒の学習意欲の向上に繋がっていると思う。
年度末	全職員が協力し、互いに切磋琢磨しながら、研究内容の具現化に努めた。	年度末	4	年度末	4	研修を通して学んだことを日常の授業に生かし成果を上げていることが、アンケートの結果からもうかがえる。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 ・研究主題に基づいた教科研究主題を設定し、学期末に振り返りを行った。各教科のアンケートより、「自律的に学び続けるための振り返り」の数値がやや低い傾向にあった。各教科の実施例を共有していきたい。 ・教科の枠を超えた指導案検討会および授業研究会を行うことで、教員同士の協働性を高めることができた。 ・授業プランシートを活用した授業を実施し、授業を見合う期間を設定することで、授業づくりの資質向上を図ることができた。 ・生徒アンケート及び教師アンケートを実施し、速やかに分析結果を共有することで、教職員のモチベーション向上を図ることができた。					
	【年度末評価】 ・定期的に教科部会を設定し、教科研究実践の振り返りを行うことで、授業改善の視点を確認しながら研究を進めることができた。今年度は全教科公開授業があり、研究会で多くの参加者から高評価をいただいた。 ・授業プランシート及び授業参観シートの裏面に「各教科の見方・考え方」を添付することで、教科の枠を超えた研修を充実させることができた。 ・各種アンケート結果を速やかに共有し、全職員で分析することで、課題解決に向けた取組を即時行うことができた。					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
①教職員の資質向上を目指した校内研修の充実 ②人事評価制度を生かした校内OJTの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・研究主題に基づいた教科研究主題および主な取組の実施と振り返り ・教科の枠を超えた指導案検討会および授業研究会の実施 ・授業プランシートを活用した授業実践 ・授業を見合う期間の設定（年2回） ・生徒アンケート、教師アンケートの実施と分析

<資料>

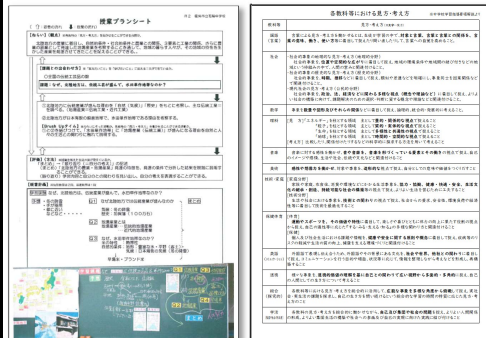
○教科研究実践※4段階評価



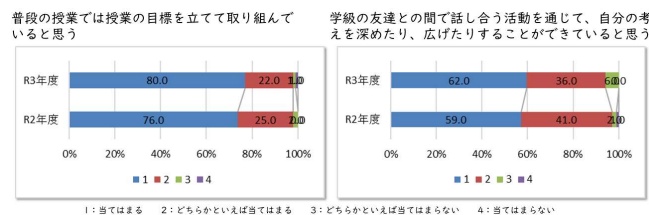
○教科の枠を超えた指導案検討会・授業研究会



○授業プランシート※裏面に各教科の見方・考え方



○生徒アンケートの実施※3年生経年比較



基本方向9 「地域とともに特色ある学校づくりの推進」

児童生徒又は学校の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	地域連携事業の明確化と実施計画の策定	中間	3	中間	4	積極的かつ広域に渡る地域での活動は、生徒の成長を促すものと考えられる。
年度末	11社の「模擬会社」に地域の方々に関わってもらい、充実した活動ができた。地域発信の場を活用し、学校の活動を知ってもらう機会が増えた。	年度末	4	年度末	4	コロナ禍の制限もあるが、特色ある活動を生徒が主体となり地域と共に創り上げている。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 感染症対策により、時期により内容により様々な制限があったが、できる限りの地域との関わりをもつことができた。総合的な学習の時間で取り組んでいる「模擬会社」の活動では積極的に地域の方に関わっていただいた。また、拡大した学区に対応した「地域清掃活動」、地域の避難所となったことをうけての避難所設置体験等、現状を踏まえた体験活動の実施を行うことができた。					
	【年度末評価】 学校運営協議会で集約されたキーワード「地域・自己・心のつながり・未来へ」を意識し「模擬会社」の活動を推進した。学校祭では、地域の方の協力を得ながら取り組んできた「模擬会社」の活動を伝え広げる企画を展示やステージで発表し、保護者に伝えることができた。花輪市民センター祭や青少年の集いへの参加の機会を得たほか、新聞・テレビなどの取材を積極的に活用し、鹿角や県内に学校の取組を発信する機会を増やした。「地域活性化中学生選手権」に参加し、県大会で審査員特別賞を受賞するなど、生徒の活動が大きく評価された。					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
①地域人材やボランティア、地域素材の積極的な活用 ②保護者・地域への積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を活用した地域の願いと学校教育活動の融合 ・「はなふるタイム」での積極的な地域人材の活用 ・生徒会が主体となった地域ボランティアの実施 ・学校報、HP、地域の掲示板活用による情報の発信 ・報道機関への学校行事の告知による情報の発信

<資料>

学校生活に関するアンケート（生徒）

①あなたは、社会の出来事に関心をもち、地域に親しみ、地域の人た…

②あなたは自分の進路や将来の夢を意識した学習や活動を行っています…

学校運営協議会「熟議」

学校生活に関するアンケート（保護者）

①学校は、生徒の郷土愛を育む活動をよく行っていると思いますか？

②学校は、生徒の進路や自己実現に向けた活動をよく行っていると思いますか？

学校祭

秋田活性化中学生選手権